

学校に向けた取り組み予定

【北陸地方整備局】

①現場見学会の予定

⇒『北陸地整がススめる！現場見学ガイド』で代表的な現場見学会を紹介

②出前講義の紹介 ⇒「地域のものがたり講座」

③インターンシップ受け入れ予定

対象学生：技術系（土木・機械・電気通信・建築）を学ぶ学生・生徒

募集期間：例年5月上旬～6月上旬で受け付け（※HPで募集案内）

実習期間：概ね7月10日～9月30日の期間中で調整

※約1、2週間とし、実習生（学校）の要望を考慮し決定

実習場所：北陸地方整備局管内の事務所等25箇所のうち希望する場所

※平成26年度は10事務所で17名受け入れ。

新潟港湾空港技術調査事務所、信濃川下流河川事務所、新潟国道事務所、

長岡国道事務所、信濃川河川事務所、高田河川国道事務所、金沢河川国道事務所、

金沢港湾・空港整備事務所、黒部河川事務所、千曲川河川事務所

実習内容：別紙1

【新潟県】

＜土木部＞

○ 新潟県のインターンシップ受入れ

対象学生：高等学校、高等専門学校、大学の建設系学生

実習時期：概ね7月10日～9月30日の範囲

※原則2週間とし、実習生（学校）の要望を考慮し決定

※平成26年度実施期間

①7月28日（月）～8月8日（金）

②8月18日（月）～8月29日（金）

③9月1日（月）～9月12日（金）

実習場所：新潟県土木部関係の地域機関、地域振興局土木部関係部（所）

実習内容：県土木行政に従事する職員の補助業務

（調査、測量、設計、管理パトロール、施工監督、事業実施箇所の見学等）

＜教育委員会＞

○ 業界団体と連携したインターンシップ受入れ

対象学生：建設系学科の高校生

実習時期：概ね7月～10月の範囲

実習場所：県内の企業

実習内容：①インターンシップ

目的：勤労観・職業観の育成

期間と内容：3日間程度の就業体験（建築現場見学、CAD設計体験等）

②デュアルシステム

目的：実践的な職業知識や技術・技能の習得

期間と内容：10日間程度の現場実習（建築作業補助、測量補助等）

【新潟市】

【インターンシップ受入れ】

新潟市において、以下のとおり建設系学生の受け入れを行う予定。

- ・時 期 7～9月
- ・対 象 高校生、大学生
- ・内 容 受け入れ可能職場における実習
(土木・下水道事業に係る事務補助など)

【(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部】

1. 例年実施している新潟大学農学部からの要請に基づく出前講座を実施する予定
昨年の講義の内容

- ・「建設コンサルタント業界と自然環境に関する仕事の概要」
- ・「自然環境調査などの事例 土木に生態学の知見」
- ・「トキの野生定着と地域振興に向けて」
- ・「人とトキとの共生に向けた農村づくり」(グループ討議及び発表)

2. 支部管内の各高等学校へ「支部作成の「建コン PR 動画」のチラシ」を配布し、管内の高校生に対して建設コンサルタントの「仕事と魅力」の理解促進を図る予定。

・・・別紙2「チラシ」及び「シナリオ」のとおりに

3. インターンシップについては、以下のとおり

◆インターンシップの受け入れについて

(1) 今後、インターンシップを受け入れる予定はありますか? ある **18社**(新潟10社、富山3社、石川5社) なし **2社**(新潟0社、富山1社、石川1社)

(2) 「ある」と回答した会社は、インターンシップの受け入れ対象学校はどこかお聞かせ下さい。

高校生 **0社** **大学生 16社**(新潟10社、富山1社、石川5社(内大学院1社)) ・高校生と大学生の**両方**を対象 **3社**(富山2社、石川1社) ・その他()

(3) 「ない」と回答した会社は以下にその理由をご記載下さい。

・インターンシップ受け入れには、受け入れ側も企画・対応するための人的な余力が必要となるため。

【日本建設業連合会北陸支部】

・小学校高学年を対象にした「親子工事見学会」については、毎年実施することとしています。また、見学現場については、6月に検討し選定することとしています。

・今後も「市民現場見学会」を学生にも参加を呼びかけ実施することとしています。また、見学現場については、7月頃に検討し選定することとしています。

【(一社)新潟県建設業協会】

高校生の現場見学会の実施

県内の建設系高等学校の生徒に、建設工事現場の見学と諸先輩との懇談会等を通して、建設業の社会的役割と魅力等を理解してもらい、建設業への入職促進に資するために下記の8校で実施(網掛けH27年度実施予定)

【過去の実績】

学校名	学科・定員	H22	H23	H24	H25	H26
新発田南	土木工学科				2年 37名	
	建築工学科		2年 28名			
新潟工業	土木科			3年 39名		
	建築科 建築コース	1年 40名				1年 40名
新潟県中央工業	建設工学科	1・2年 75名 ・都市工学 35 ・建築 40		2・3年 76名 ・都市工学 36名 ・建築 40名		2・3年 66名 ・都市防災 33名 ・建築 33名
加茂農林	環境緑地科		3年 36名		2年 33名	
上越総合技術	建築・デザイン科 環境土木科	3年 24名 環土		3年 45名 建テ 16名 環土 29名		3年 53名 ・建シ 24名 ・環土 29名
高田農業	農業土木科		2年 38名		2年 38名	
新津工業	日本建築科					○
塩沢商工	機械システム科 H27年度2年生から 土木系科目選択可					

高校生のインターンシップ・デュアルシステム等の受入

新潟県教育庁高等学校教育課との連携の下、従来の建設系高等学校の受入れと併せ、普通科高等学校の受入れを拡充予定

【過去の実績】

	H22	H23	H24	H25	H26
インターンシップ	生徒数 54名 受入企業 22社	生徒数 76名 受入企業 35社	生徒数 85名 受入企業 34社	生徒数 57名 受入企業 20社	生徒数 67名 受入企業 23社
デュアルシステム	生徒数 5名 受入企業 5社	生徒数 13名 受入企業 8社	生徒数 11名 受入企業 8社	生徒数 4名 受入企業 2社	生徒数 5名 受入企業 3社

小学生を対象とした現場見学会の実施

小学校では「キャリア教育」を推進しており、ものづくり産業を支える「人づくり」に取り組む当会として、これに協力し、小学生等が社会資本整備の重要性とその使命、価値に対する理解を深めることを目的に信濃川大河津資料館等の見学会を実施予定

【過去の実績】

- H22年度… 新潟市立両川小学校4年生
- H23年度… 燕市立島上小学校3・4年生
- H24年度… 燕市立分水小学校4年生、分水北小学校4年生
- H25年度… 燕市立吉田小学校4年生、粟生津小学校4年生

【(一社)新潟県測量設計業協会】

・インターンシップ等、受け入れ可能人数を記載した企業リストを、予め高等学校に通知する。

平成26年度 受入事務所一覧表

所在地		事務所	職種	人数	時期	期間	テーマ	実習内容
山形県	西置賜郡小国町	飯豊山系砂防事務所	土木	1	8月下旬～9月上旬	1週間	飯豊山系の砂防事業	・磐梯朝日国立公園内など豊かな自然環境との調和を目指した砂防事業(大暗渠型砂防堰堤、スリット化取組みなど、魚道の調査)を学ぶ ・全国初の砂防堰堤を活用した水力発電(クリーンエネルギー)の取組みを学ぶ ・地域一番の観光資源である飯豊連峰登山道などと調和を図った砂防事業(梅花皮沢等の砂防堰堤群)の体験、土石流危険渓流対策に係る工事監督の体験
新潟県	村上市	羽越河川国道事務所	土木	2	8月下旬～9月下旬	2週間	清流荒川とその上流に位置する横川・大石ダム及び日本海東北自動車道の管理	・平成22年に水質日本一“清流荒川”の河川巡視及びダムの管理実務 ・県北地域に安全安心なサービスを提供する“日本海東北自動車道”(高速道路)の道路管理実務
	新潟市	新潟港湾・空港整備事務所	土木	1	7月下旬～8月上旬	2週間	新潟港の土砂堆積予測調査	日本一長い信濃川の河口にある新潟港に堆積する土砂の予測に関して、検討資料を取りまとめ実務
		新潟港湾空港技術調査事務所	土木	2	8月中旬～8月下旬	2週間	国際物流の拠点として重要な港湾施設の設計	我が国の貿易(輸出入)に必要な不可欠な国際物流ターミナル(港湾施設)の役割及び設計方法の習得
		北陸地方整備局 営繕部	建築	1	7月下旬～9月下旬	2週間	官庁施設のストックの有効活用	新潟市内の官庁施設についてストックの有効活用に向けた事業説明資料を作成する
		信濃川下流河川事務所	土木	1	8月下旬～9月上旬	2週間	信濃川下流域の治水事業 ～信濃川下流、新潟海岸の取組み～	・日本一の延長を誇る信濃川の下流域における河川整備の計画や環境保全、水文観測の実務、河川パトロールの実務 ・海岸侵食が著しい新潟海岸における海岸保全施設の計画や環境保全、海岸パトロールの実務
		阿賀野川河川事務所	土木	1	8月上旬～9月下旬	1週間	阿賀野川管内観測史上最大の平成23年度災害を受けての復旧対応	平成23年7月(新潟・福島豪雨)既往最大の10,000m ³ /sを超える出水を受けて、出水時の対応状況及びその後の対策事業について学ぶ
		新潟国道事務所	土木	1	7月中旬～8月中旬	2週間	新潟の背骨を支える大動脈「新潟バイパス」の道路管理	全国有数の交通量(1日10万台以上)を支える新潟バイパス等の道路管理業務(パトロールや補修・修繕)の現場実務を体験
		新潟国道事務所	土木	1	7月中旬～8月中旬	2週間	開通を控えた「国道8号白根バイパス」の工事監督	今年度、開通予定の大規模バイパス事業等の工事監督(現場確認や施工業者との協議等)の現場実務を体験
	長岡市	長岡国道事務所	土木	1	8月下旬～9月上旬	2週間	新潟中越地域の道路事業	・中越地域の発展の基盤となる道路整備の調査、設計から施工、管理まで総合的に学ぶ ・新潟と関東を結び、全国有数の豪雪地域の人々の暮らしを支える国道17号などの道路管理(除雪等)の仕組みや、それらに使用する機械などを学ぶ ・直轄国道の道路パトロールへの同行、八箇峠道路などの大規模トンネル工事や補修工事、橋梁点検等の現場見学により実務を体験
		信濃川河川事務所	土木	3	8月上旬～9月下旬	2週間	日本一の大河信濃川流域の治水事業 ～災害から地域住民の安心・安全を守り続ける取組み～	・信濃川の流量をコントロールし、越後平野を洪水から守り続けている大河津可動堰を始めとした大規模河川管理施設を見て役割を学ぶ ・河岸段丘から扇状地、氾濫原へと地形の変化に富んだ信濃川での河川パトロールを体験 ・度重なる浸水被害の軽減を図るため、国・県・市の3者が一体となって整備を進めている柿川放水路事業における樋門工事の工事監督を体験
		国営越後丘陵公園事務所	土木	2	7月下旬～8月下旬	2週間	国営越後丘陵公園の利用状況調査と利用促進計画の検討	年間入園者数が2年連続50万人を超える、日本海側唯一の国営越後丘陵公園における調査計画業務
	上越市	高田河川国道事務所	土木	2	7月下旬～9月下旬	2週間	上越地域の河川事業及び道路事業	・水害常襲地帯の関川と、国内屈指の急流河川である姫川における河川整備、河川管理の実務 ・天下の險「親不知」を含む国道の防災点検の実務 ・今年は「高田開府から400年」。城下町高田のなりたちと「道」や「川」との関わり等についての検討業務
	南魚沼市	三国川ダム管理所	土木	1	7月上旬～9月下旬	2週間	三国川ダムの堤体観測	地域に開かれたダムとして多くの方が訪れる三国川ダム(ロックフィル)の堤体観測の実務と資料とりまとめ業務
湯沢町	湯沢砂防事務所	土木	2	8月下旬～9月下旬	2週間	被災地の復興を支え、地域の安全・安心を守る砂防事業	・地域を土砂災害から守る砂防設備に関わる工事監督の体験及び測量設計の体験 ・中越地震からの復興に貢献した芋川流域における砂防設備の点検体験 ・我が国最初期のアーチ式砂防堰堤 大源太川第1号砂防堰堤(登録有形文化財)の補強対策の検討業務 ・環境に配慮した砂防事業を進める為の、環境調査(魚類、植物等)実施	
石川県	金沢市	金沢河川国道事務所	土木	1	7月中旬～8月中旬	2週間	石川県の治水事業 ～梯川及び手取川の河川、砂防、ダム、海岸の取組み～	・小松天満宮付近などの河川改修事業の必要性を学び、工事監督などを体験 ・急流河川手取川の工事監督及び河川パトロールを体験 ・全国的に極めて希な高山地域での大規模地すべり対策における現地調査及び工事監督体験
		金沢河川国道事務所	土木	1	7月中旬～8月中旬	2週間	石川県の道路事業 ～直轄国道の整備・管理の取組み～	・観光都市金沢市街地での道路パトロールの実施 ・能登半島の発展に寄与する国道470号七尾水見道路等の大規模工事における工事監督体験
		金沢港湾・空港整備事務所	土木	1	7月中旬～8月上旬	2週間	金沢港大水深岸壁事業の計画と施工	・金沢港で建設している大水深の岸壁事業における計画実務(計画に関する資料取りまとめ) ・高度な技術力が必要とされる棧橋の鋼管杭打設の現場実務(工事監督補助など)

所在地		事務所	職種	人数	時期	期間	テーマ	実習内容
富山県	富山市	伏木富山港湾事務所	土木	1	7月中旬～8月上旬	2週間	伏木富山港の物流機能に関する調査	伏木富山港と中国・ロシアなどの港との物流について、貨物などの特徴を整理すると共に、伏木富山港での物流の今後のあり方を取りまとめる。
		富山河川国道事務所	土木	1	7月中旬～12月下旬	1～2週間	富山県の河川の特徴を考慮した河川事業 ～常願寺川の整備・管理～	日本一の急流河川である常願寺川において河川パトロール等を通して急流河川の特性及び新たな河岸防護工の考えを学ぶ
	高岡市	〃 能越、高岡国道維持出張所	土木	2	7月中旬～9月中旬	1週間	富山県の道路事業 ～直轄国道の調査計画から工事、維持管理業務～	・富山県内の直轄国道の計画着手から工事進捗に向けた流れを学ぶ ・能登地域と三大都市圏(東京・大阪・名古屋)を結ぶ七尾氷見道路(氷見市灘浦～脇)の工事現場監督を体験 ・高規格幹線道路、山間部、市街地、海岸部と多様な直轄国道の道路パトロール等の維持管理
	黒部市	黒部河川事務所	土木	2	7月下旬～8月上旬	1週間	黒部川の治水事業 ～黒部川流域の河川、ダムや下新川海岸の取り組み～	・日本でも屈指の急流河川である黒部川の河川巡視実務 ・全国でも侵食の激しい海岸として有名な下新川海岸の海岸巡視実務 ・直轄ダムでは初めてとなる土砂を排出する排砂設備を有する宇奈月ダムでの点検作業の実務 ・各事業における工事現場での実習
	砺波市	利賀ダム工事事務所	土木	2	7月下旬～8月下旬	1週間	庄川流域の安全・安心を確保 一利賀ダム建設事業の役割一	・地域とともに築く安全・安心を考える利賀ダム建設事業について学ぶ ・地域住民の生活を支える生活再建道路の工事監督を体験(下島大橋施工プロセス検査等) ・山間部で急斜面な地形の工事を肌で感じる(これまで実施したトンネル、橋梁工事等の事例)
福井県	敦賀市	敦賀港湾事務所	土木	1	7月下旬～8月上旬	2週間	敦賀港の外郭施設(防波堤)の築造工事	敦賀港に入る波を遮る防波堤(総延長1,330m)について、築造の最終段階における現場実務(工事監督補助など)
長野県	長野市	千曲川河川事務所	土木	1	7月中旬～8月下旬	1週間	千曲川・犀川の流量観測及び環境調査	日本一の幹川流路延長(367km)をほこる信濃川の上流部に位置する千曲川・犀川において ・河川整備の目的を、工事現場を見て回り理解する ・流量観測を実際に行い取りまとめる。またデータが何に使用されるか理解する
	松本市	松本砂防事務所	土木	1	7月下旬～8月中旬	2週間	北アルプス地域の砂防施設の計画設計	3,000m級の高山が連なる北アルプスから流出する膨大な土砂を起因とする土砂災害から国土を守る砂防事業の調査設計の実務
	大町市	大町ダム管理所	土木	1	7月中旬～9月中旬	1～2週間	高瀬川下流域の安全を守り環境に配慮したダム管理	ダムの安全性及び機能を長期的に保持するための施設点検巡視 環境に配慮したダム放流効果の調査検証(水文観測) 気象状況とダム管理諸量についてとりまとめ比較傾向検証
福島県	会津若松市	阿賀川河川事務所	土木	2	7月下旬～8月下旬	2週間	会津地域を潤す阿賀川流域の治水事業 ～阿賀川・大川ダムの工事・管理～	・阿賀川下流部河道拡幅事業や阿賀川弱小堤防対策事業の効果を学び工事監督を体験する ・堤防点検、河川巡視及び河川法許認可の実務 ・大川ダムの効果及び管理の実務を学ぶ

～ 建コンP R動画 ～

教えて！ケンコンさん

プロフェッショナルエンジニア

まおづくりの専門家

の門をたたくてみませんか



Q 教えて！ケンコンさん

で検索！

制作：一般社団法人建設コンサルタツ協会北陸支部
後援：国土交通省北陸地方整備局・新潟県・富山県・石川県（案）

建設コンサルタント協会北陸支部 PR動画について

1. 趣旨・狙い

- ・小・中・高校生や市民をターゲットに、建設コンサルタントの仕事内容や魅力を「分かりやすく、親しみやすく」伝える。
- ・魅力を伝えることで、将来、建設コンサルタントを目指す工学系の大学生を増やしていきたい。

2. 内容 YouTube公開アドレス：<https://www.youtube.com/watch?v=0qj80OLhdoQ>

- Mrケンコンが建設コンサルタント分りやすく紹介



- 特筆すべき取り組み（災害対応、橋の維持管理、多自然川づくりなど）を紹介



- 建設コンサルタントの役割を紹介



- 建コンで活躍している若手技術者の仕事の様子とプライベートを紹介



- 建コンが関わるまちづくりの分野（道路、橋、トンネル、河川などを紹介）



- これまでに取り組んできた具体的な事例を写真で紹介



3. 今後の展開

- ・建コンが主催するイベントや学生を対象とした説明会などで放映していく。
- ・そのほか、ホームページ上やYouTubeなどの動画サイトを用い幅広く公開していく。

建設コンサルタント協会北陸支部 P R 動画

が建設通信新聞で紹介されました。



子ども向けに P R 動画

建コン協北陸支部

建設コンサルタント協会北陸支部（寺本邦一支部長）は、小・中・高校生や市民を対象にした P R 動画を作成した。建設コンサルタントの仕事の内容や魅力を分かりやすく伝え、工学系大学生の就職促進につなげていくのが狙い。

動画のタイトルは「教えて！ケンコンさんー建設コンサルタントの仕事と魅力」。 「ケンコンさん」などのキャラクターを登場させ、まちづくりや土木構造物など行政が執行する公共工事の調査、設計のほか、長寿命化や災害対応、自然環境保全などに果たしている役割を映像で

分かりやすく説明。管内で活躍する会員企業の技術者も紹介している。放映時間は約 6 分。

写真などを入れ替えば他支部でも利用可能だという。同支部では今後、ホームページや YouTube などを使って動画を積極的に広報していく考えだ。

2014年10月28日 010面 01版 No.04

建設通信新聞

建設コンサルタンツ協会 PR動画

時間	映像	ナレーション
オープニング	タイトル 『教えて！ケンコンさん』 ～建設コンサルタントの仕事と魅力～ 	ふたり： 教えて！ケンコンさ～～ん！
0分10秒～	女の子が飛行船より町の風景を見ながら 	女の子： 道路・橋・川の堤防にダム・公園… まちにはいろいろあるんだな～。 でも誰が設計してるんだろう？
0分20秒～	Mr. ケンコンが登場 	ケンコン： こんにちは！それは「建設コンサルタント」が設計しているんだよ 女の子： え?! 建築士さんじゃないの？ ケンコン： 実はビル等の建物(たてもの)以外の設計は建設コンサルタントが関わっているんだ 女の子： へー知らなかった! もっと詳しく教えて! ケンコン： OK! それではケーシーくんで説明しよう
0分42秒～	ケーシーくんに説明画面が表示される ■公共事業(まちづくり)における建設コンサルタントの仕事と立場 「国・地方自治体」、「建設業」、「住民等」との関係を写真・イラストで説明 	ケンコン： 公共事業は『国や地方自治体』の依頼に基づき、『建設コンサルタント』が「調査・計画・設計」を行うんだ! 実際の工事は、建設コンサルタントの設計図をもとに『建設業者』により行われるんだよ。また、最近の公共事業は『大学や研究機関』から専門的なアドバイスを受けながら進められることも多いんだよ。 このようにプロジェクトを完成させるためには、それぞれが協力し合わなければならないんだ。 女の子： 「建設コンサルタント」ってすごく重要な役目なんだね! ケンコン： 豊富な知識と優れた技術を身につけていて、それを住みやすい「まちづくり」のいろいろな分野に活かしているんだ
1分41秒～	■建設コンサルタントが活躍しているまちづくりの主な分野 ■まちの全景イラスト表示  それぞれにズームアップし、簡潔に説明 	ケンコン： 次に建設コンサルタントが活躍している「まちづくり」の主な分野を紹介するよ! ケンコン： ●国内の物流や、観光に欠かせない都市を結ぶ 高速道路! 人の生活を支える 市街地道路! この道路を通すための 橋 や トンネル! ●そして、国際的な物流、観光にも欠かせない 港! ●洪水に備えるための ダム や 堤防 、高潮に備えるための 防波堤! ●土石流を防止するための 砂防ダム 、土砂崩れを防止するための 斜面对策! ●全ての人にとって、なくてはならない水。その水を使うための 浄水場 や、使った水をキレイに戻すための 下水処理場! ●人々が遊び、安らげる 公園 など これらの施設をつくるための調査や、計画、設計を行っているんだよ!

時間	映像	ナレーション
2分43秒～	 <p>『建設コンサルタントはあらゆるものを調べたり、設計したりしているんだ』</p>	<p>女の子： すごーい!建設コンサルタントってまちづくりのほとんどに関わってるんだ</p> <p>ケンコン： そうだね。人々の暮らしを支える道路・橋・港。命を守るための川の堤防やダム。憩いの場となる公園など、あらゆるものを調べたり、設計したりしているんだ。</p> <p>女の子： わたしたちの暮らしを支えてくれているんだね!</p> <p>ケンコン： ものをつくるだけじゃないんだ。現在ある物も大事に使って長持ちさせるのも、建設コンサルタントの仕事なんだ!</p>
3分15秒～	<p>■古くなった施設を活かす —橋の維持管理—</p>  	<p>ケンコン： 戦後、日本が発展するために建設した橋の多くは今、50年の使用期限を迎えているんだ!これらを点検し、長持ちする方法を考えるのも建設コンサルタントの仕事なんだ!</p> <p>女の子： へ〜、つくって終わりじゃないんだあー。</p>
3分37秒～	<p>■災害対応 —早期復旧支援—</p>  	<p>ケンコン： 最近、洪水や地震が多く起きているけど、洪水や地震で被害にあった川の堤防や道路などの復旧に携わっているのも建設コンサルタントなんだ。専門家として真っ先に現地につけ、被害状況を調査し、速やかに復旧するための計画や設計を行っているんだ。</p> <p>女の子： たのしいな〜</p>
4分04秒～	<p>■災害に備える —地震対策—</p>  	<p>ケンコン： ほかに、最大級と言われる東南海・南海地震に備えて、避難の参考となる地図や、防災訓練の計画を立てたり、施設の耐震化などにも取り組んでいるんだ。</p> <p>女の子： 私たちの暮らしの安全を守っているのも建設コンサルタントなんだね!</p>
4分23秒～	<p>■自然環境を守る —川づくり—</p>  	<p>ケンコン： それに、建設コンサルタントは地球環境のことも考えているんだ!自然は一度こわれると、なかなか元にはもどらないんだ。だから今ある自然が次の世代に、そのまた子供たちにも引き継がれるように、自然の生き物や植物を守りながら川づくりを進めているんだ。</p> <p>女の子： 地球も守ってくれているんだね!</p>
4分48秒～	<p>『わたしもなりたいなー』</p>  <p>『みんなの暮らし』『みんなの未来』『みんなの地球』</p>	<p>女の子： 建設コンサルタントの仕事って何でも出来てかっこいい!私もなりたい!!なりたいなー!</p> <p>ケンコン： それはうれしいなあ。建設コンサルタントはみんなの暮らし、みんなの未来、みんなの地球に役立つ、とてもやりがいのある仕事なんだよ。</p>
5分08秒～	<p>■活躍中の建設コンサルタントを紹介します!</p> <p>4名の仕事の様子、プライベートを紹介</p> 	<p>ケンコン： 建設コンサルタントとして活躍している、みんなを紹介するよ!</p> 
5分49秒～ エンディング	<p>『今までの取り組みを紹介します』</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・やすらぎ堤 ・萬代橋 ・富岩運河環水公園内 天門橋 ・新湊大橋 ・東茶屋街 ・崎浦涌波トンネル ・穴水道路 <p>ケンコン： わたしたち建設コンサルタントは、これからも人の暮らしや、まちの未来に貢献していきます。</p>
6分17秒	<p>JCCA 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会</p> <p>詳しくは『建コン』で検索!!</p> 	<p>ふたり： みんな!!「建コン」で検索してみて!!</p>